

令和8年3月12日(木) 13:00～17:30

会場 丸ビルホール&コンファレンススクエア 丸ビルホール (東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7階)

主催 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

【申込URL】 https://healthcare-service.amed.go.jp/symposium_fifth/

【参加方法】 事前申込制・ハイブリッド開催 (現地300名、オンライン1000名)

【参加対象】 ヘルスケアサービスを開発している/関心のある事業者、医療従事者、アカデミア、メディア関係者等
ヘルスケアサービスを利用/導入検討中の企業・健康保険組合・自治体等の団体

申込サイトには
QRコードからも
アクセスできます



13:00 **開会挨拶** 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長 **中釜 斉**

13:05 **来賓挨拶** 日本医学会 / 日本医学会連合 会長 **門脇 孝氏**

13:10 **特別講演** **経済産業省が進める質の高いヘルスケアサービスの創出・振興に向けた取り組み**
経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課長 **福田 光紀氏**
予防・健康づくりの進展と今後の展望
厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課長 **丹藤 昌治氏**

セッション1

医学会発、予防・健康づくりの「指針」を重症化予防へ拡大 ～働く世代を支える科学的エビデンスの活用～

AMEDの支援のもと、予防・健康づくり関連分野の医学会において、ヘルスケアサービスにおける非薬物的介入手法の科学的エビデンスを整理した指針が策定されてきた。今年度は、働く世代の二次・三次予防を対象とした3指針 (脂肪肝関連疾患、循環器疾患、婦人科疾患) が公表された。本セッションでは、これらの指針の背景および要点を整理するとともに、その位置づけや意義、ならびに今後の活用に向けた視点について解説する。

13:30 **基調講演** **医学会発『指針』の先にあるもの ～ヘルスケアサービスの社会実装に向けて～**
京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授 **中山 健夫氏**

13:45 **指針紹介** **働く世代の二次・三次予防領域の3指針とその活用法**
脂肪肝関連疾患 東京慈恵会医科大学大学院 代謝栄養内科学 教授 **吉田 博氏**
循環器疾患 聖路加国際病院 循環器内科 / 医療の質管理室 室長 **水野 篤氏**
婦人科疾患 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 教授 **寺内 公一氏**

14:30 **総合討議** パネリスト：中山氏、吉田氏、水野氏、寺内氏
モデレーター：国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター
センター長 / 理事長特任補佐 **磯 博康氏**
サブモデレーター：株式会社日本総合研究所

15:00 休憩 (15分)

セッション2

ヘルスケアサービスの「継続」と「成果」をどう生み出すか？

～研究成果と先進事例から探る、利用定着へのアプローチ～

AMEDの取組の一環として、予防・健康づくり分野の特性を踏まえたエビデンス構築に資する研究手法および評価指標の開発支援が進められている。本セッションでは、特に、ヘルスケアアプリ等の利用継続性の向上を目的とした多面的価値評価に関する研究に着目し、その研究成果および民間事業者による先進的なサービス開発の取組を紹介するとともに、ヘルスケアサービス開発者および利用者をはじめとする多様なステークホルダーの視点を踏まえ、サービス利用継続に関する課題と解決策について整理する。

15:15 **基調講演** **継続的な行動変容を促す予防/健康増進アプリの最前線**
株式会社Wellmira 代表取締役社長兼CEO **渡辺 敏成氏**

15:35 **事例紹介** **未来予測×仲間づくりで促すインターバル速歩の開始・継続実践**
信州大学大学院医学系研究科 スポーツ医科学 教授 **増木 静江氏**
AIで実現する特定保健指導の個別最適化と離脱防止のアプローチ
京都大学大学院医学研究科 健康医療DX講座 特定准教授 **峰晴 陽平氏**

16:05 **総合討議** パネリスト：渡辺氏、増木氏、峰晴氏
住友生命保険相互会社 常務執行役員 / 一般社団法人 WE AT 共同代表理事 **藤本 宏樹氏**
公益社団法人 日本医師会 常任理事 **宮川 政昭氏**
川崎市 健康福祉局 保健医療政策部 保健医療政策課 課長 **土元 寛人氏**
モデレーター：株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役 **青木 武士氏**
サブモデレーター：株式会社日本総合研究所

16:35 **閉会挨拶** 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部 部長 **林 勇樹**

16:40 **ネットワーキング (50分)**

●登壇者紹介



中釜 啓

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長

1982年東京大学医学部卒業。1990年同大学医学部第三内科助手。1991年から米国マサチューセッツ工科大学がん研究センター・リサーチフェロー。1992年医学博士号取得。1995年以降国立がんセンター研究所がん研究部室長、生化学部長、副所長、所長を歴任。2016年4月より国立がん研究センター理事・総長。2025年4月より国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長。ヒトがんの環境要因、及び遺伝的要因の解析とその分子機構に関する研究に従事。分子腫瘍学、環境がん、がんゲノムが専門。



門脇 孝氏

日本医学会/日本医学会連合 会長
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長

1978年東京大学医学部医学科卒業。1980年米国国立衛生研究所（NIH）糖尿病部門留学。1996年東京大学医学部第三内科講師。2001年東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科助教授。2003年東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科教授。2011年東京大学医学部附属病院長（～2015年）、2018年東京大学大学院医学系研究科糖尿病・生活習慣病予防講座特任教授。2020年国家公務員共済組合連合会 虎の門病院院長、2023年日本医学会/日本医学会連合会長。



福田 光紀氏

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課長

2002年経済産業省入省。その後、資源エネルギー政策やバイオ技術政策などに携わり、JOGMECロンドン事務所長、資源エネルギー庁原子力発電所事故収束対応室長、ガス市場整備室長を経て、2025年から現職。



丹藤 昌治氏

厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課長

広島市出身。平成16年広島大学医学部卒業後、平成18年厚生労働省入省。疾病対策・がん対策・感染症対応などを担当し、環境省、島根県、国立国際医療研究センター、国立社会保障・人口問題研究所、日本医療研究開発機構で勤務のち、令和5年7月に岐阜県健康福祉部長を務め、令和7年7月より現職。



中山 健夫氏

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻
健康情報学分野 教授

東京医科歯科大学（現・東京科学大学）医学部卒。米国UCLA、国立がんセンター研究所室長などを歴任。2006年から現職。厚生労働省厚生科学審議会会長、日本医療研究開発機構ヘルスケア社会実装基盤整備事業プログラムスーパーバイザー、日本医療機能評価機構 EBM普及推進事業Minds運営委員長などを務める。



吉田 博氏

東京慈恵会医科大学大学院 代謝栄養内科学 教授

1987年防衛医科大学卒。米国カリフォルニア大学サンディエゴ校などを経て、2007年東京慈恵会医科大学大学院代謝栄養内科学准教授。2013年から現職。学校法人慈恵大学理事、東京慈恵会医科大学附属柏病院院長、東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座教授、動脈硬化学会理事、臨床栄養学会理事。



水野 篤氏

聖路加国際病院 循環器内科 / 医療の質管理室 室長

2005年京都大学医学部卒業。聖路加国際病院にて循環器内科医として勤務し、同院QIセンター副センター長などを歴任。ペンシルバニア大学 Nudge Unit 客員准教授を経て2022年より現職。MBAおよび行動経済学の知見を医療現場に応用する研究に従事。専門は循環器内科学、医療の質（QI）、行動経済学。日本循環器学会・日本高血圧学会など多くの学会での委員会を兼任し、臨床と医療政策・管理の架け橋として活動している。



寺内 公一氏

東京科学大学大学院医歯学総合研究科 教授

1994年東京医科歯科大学（現・東京科学大学）医学部卒業。都立大塚病院産婦人科等に研修。2003年医学博士。2005年米国エモリー大学リサーチフェロー。2012年東京医科歯科大学女性健康医学講座准教授。2016年同教授。2020年同大学茨城県地域産科婦人科学講座教授。2024年東京科学大学茨城県地域産科婦人科学講座教授。日本女性医学学会副理事長。



磯 博康氏

国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局 グローバルヘルス政策
研究センター センター長 / 理事長特任補佐

1982年筑波大学医学専門学群卒業。同大学院医学博士課程修了。1990年ミネソタ大学大学院 公衆衛生修士課程修了（フルブライト奨学生）、帰国後、大阪府立成人病センター医師、筑波大学医学研究科講師、助教授、2002年教授、2005年大阪大学医学系研究科公衆衛生学教授を経て、2022年より現職。厚生労働省戦略研究 研究リーダー（2013～2016年）。日本学術振興会 大学の世界展開力強化事業実施責任者（2016～2022年）。日本医学会・日本医学会連合副会長、日本学術会議副会長。



渡辺 敏成氏

株式会社Wellmira 代表取締役社長兼CEO

1986年味の素株式会社入社、商品開発・マーケティング等に従事。その後、株式会社ケアネット常務取締役を経て、2002年7月に株式会社リンクアンドコミュニケーションを設立。2024年5月株式会社Wellmira（リンクアンドコミュニケーションから社名変更）代表取締役社長兼CEO に就任、現職。



増木 静江氏

信州大学大学院医学系研究科 スポーツ医学 教授

奈良女子大学生活環境学部卒業、信州大学大学院工学系研究科博士前期課程修了、信州大学大学院医学研究科修了。米国Mayo Clinic 麻酔科博士研究員、信州大学大学院医学系研究科助教、同研究科准教授を経て、2018年より現職。主な研究テーマは、「運動を核にした健康長寿社会の創造」、「遺伝子多型と運動習慣の定着率と効果の個体差」など。



峰晴 陽平氏

京都大学大学院医学研究科 健康医療DX講座 特准教授

2001年京都大学医学部医学科卒業。脳神経外科専門医。2008年京都大学大学院医学研究科卒業（医学博士）。2015年京都大学医学部脳神経外科助教。2021年より現職。JCOGプロトコル審査委員・脳腫瘍グループ代表委員。専門は医療AI・遺伝疫学と難病治療開発。



藤本 宏樹氏

住友生命保険相互会社 常務執行役員 /
一般社団法人 WE AT 共同代表理事

1988年住友生命入社。通産省出向等を経て2012年ブランドコミュニケーション部、2019年新規ビジネス企画部を立ち上げ、CVCファンドを設立し、ウェルビーイング領域でオープンイノベーション推進。2024年常務執行役員（新規事業、ブランドコミュニケーション担当）。2024年東大・京大・有志企業等で一般社団法人WE ATを設立し、共同代表理事。その他に内閣府スタートアップ・エコシステム拠点都市形成計画有識者会議委員等。



宮川 政昭氏

公益社団法人 日本医師会 常任理事

1978年東京慈恵会医科大学卒業。1982年同大学第二内科入局。1986年医学博士。1999年横浜市保土ヶ谷区医師会副会長、2001年横浜市医師会常任理事、2019年公益社団法人神奈川県医師会副会長を経て2020年より現職。宮川内科小児科医院院長、医療法人社団愛政会理事長。



土元 寛人氏

川崎市 健康福祉局 保健医療政策部 保健医療政策課 課長

1976年10月7日生まれ。幼少期をイラク、タンザニアで過ごす。立教大学経済学部卒。2000年川崎市役所入庁。財政局からキャリアをスタートし、区役所窓口でのISO認証取得、高齢者福祉施設整備と制度運営、行財政改革を担当する。その後、川崎市立看護大学の設置担当を経て、ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」の企画立案業務を担い、2024年4月に現職。



青木 武士氏

株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役

2003年関西学院大学経済学部卒業後、日立造船株式会社（現カナデビア）に入社。2009年に英国ウエルズ大学でMBAを取得し、同年株式会社エス・エム・エスへ。2015年に株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズを設立。代表取締役に就任。2023年よりインパクト志向金融宣言監事。千葉大学大学院非常勤講師。



主催：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

後援：経済産業省、厚生労働省

ヘルスケアサービス事業者・利用者向け情報サイト



<https://healthcare-service.amed.go.jp/>